

3 埋立ての現況

3.1 瀬戸内海の埋立免許面積

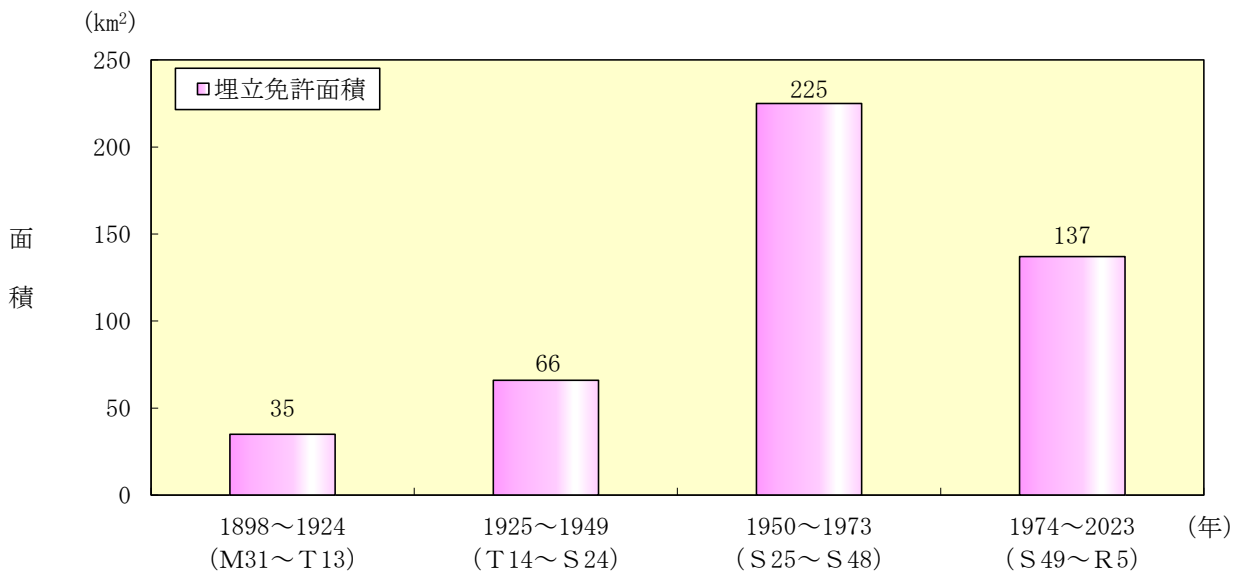
瀬戸内海では明治 31 年から大正 13 年までに約 35km²が、大正 14 年から昭和 24 年までに約 66km²が埋立免許された。昭和 25 年から昭和 48 年にかけては、重化学工業の集積等による沿岸域の埋立てが盛んになり、その間の埋立面積は約 225km²に達した。明治 31 年から令和 5 年までの埋立免許面積の合計は表 3-1 に示すように 463km²である。これら瀬戸内海の埋立免許の推移を図 3-1 に示す。

瀬戸内海における 50ha 以上の埋立てを図 3-2 に、大阪湾奥部における埋立状況を図 3-3 に示す。

表 3-1 瀬戸内海の埋立免許面積

	期 間	面積 (km ²)	年数 (年)	平均 (km ² /年)
埋 立 免 許 面 積	1898 (M31) ～1924 (T13)	35	27	1.3
	1925 (T14) ～1949 (S24)	66	25	2.6
	1950 (S25) ～1973 (S48)	225	24	9.4
	1974 (S49) ～2023 (R5)	137	50	2.7
	1898 (M31) ～2023 (R5) 累計	463	126	3.7
瀬 戸 内 海 の 全 体 面 積	23,203 km ²			
埋立免許面積／全体面積	2.0 %			

注) 埋立免許面積はすでに免許を取得している区域内で再度取得された面積を含む



注) 埋立免許面積はすでに免許を取得している区域内で再度取得された面積を含む

出典：「瀬戸内海要覧」（建設省中国地方建設局）、環境省調べ

図 3-1 瀬戸内海の埋立免許面積の推移